

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年12月1日

【評価実施概要】

事業所番号	0270301260
法人名	医療法人社団豊仁会
事業所名	グループホームぬくもり
所在地 (電話番号)	〒039-1165 青森県八戸市石堂一丁目14番27号 (電話) 0178-21-2688

評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成21年9月28日	評価確定日	平成21年12月1日

【情報提供票より】(平成 21年 8月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 14年 1月 18日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤	8人, 非常勤 人, 常勤換算 人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋 造り		
	2 階建ての 階 ~ 2 階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,100 円	その他の経費(月額)	12,900 円
敷 金	有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
または1日当たり 1,100 円			

(4) 利用者の概要(8月 1日現在)

利用者人数	9 名	男性	1 名	女性	8 名
要介護1	2 名	要介護2	2 名		
要介護3	4 名	要介護4	名		
要介護5	1 名	要支援2	名		
年齢	平均 83 歳	最低	80 歳	最高	90 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	八戸城北病院 柏崎歯科医院 サンライフ豊寿苑(介護老人保健施設)
---------	----------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>同法人の病院・老人保健施設・通所介護事業所が隣接している。また、地域の保育園、学校との交流も図られ、町内会の行事等へ積極的に参加することで情報交換をしたりと、地域と様々な面での協力体制が出来ている。</p>
--

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価での改善課題なし。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価は管理者を中心として、他の職員を交えて取り組まれている。外部評価や家族の意見を踏まえ改善に向けて取り組んでいる。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>月に2回運営推進会議を定期的実施されており、サービスの向上に向け家族や地域の方々と検討し、その取り組みや結果について報告されている。また、地域の視点からいろいろな意見を取り入れ、実践に活かされている。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10,11)</p> <p>意見箱を設置し、苦情の受付とされているが、ご家族の訪問時・行事や運営推進会議等機会ある度に意見・苦情・要望を聞きだせるよう働きかけており、いつでも話しやすい雰囲気作りにも配慮されている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>事業所周辺の散歩や地域活動への参加、保育園児等の受け入れをされており、入居者・職員が共に楽しみながら、地域とのつながりを大切にされている。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人共通の理念に加え、事業所独自の理念が作りあげられている。地域と共に暮らしていく支援を盛り込んだ理念は利用者にもわかりやすい言葉でつくられている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者・職員は理念を共有しており、職員会議及び日々のミーティングの際に周知徹底を図っておられ日々のケア等からもその様子がうかがえる。また、ホーム内に誰もが確認できるように掲示されている。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	事業所は町内会に入会しており、地域の一員として行事や活動への参加や保育園児の受け入れをしたり、地域の方々との交流が図られている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>自己・外部評価を受けることで、評価の結果を会議の場で話し合い、さらに良いグループホームづくりを目指しておられ改善に向けた取り組みがなされている。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に1回運営推進会議を実施しており、利用者の家族、町内会、市職員が参加されている。会議においては互いに要望が言いあえる関係にあり、意見交換がされている。また、会議の結果を職員全員が周知しサービスの向上に活かされている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市の集団指導への参加、または必要に応じ電話や行き来する機会を作り、課題の解決やサービスの向上に取り組んでいる。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>管理者・職員は研修に参加し、知識と情報を得ている。また、いつでも確認できるようにパンフレット等を常備されており、会議等の中でも必要性を話し合ったり、利用の確認なども行っている。</p>	○	<p>必要時に慌てることのないように、学ぶ機会を増やし理解を深められるように更なる取り組みを期待します。</p>
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>法人の内部、または外部研修で学ぶ機会を持ち、会議等において情報の共有を図り、虐待の見過ごしがないように注意され虐待防止に努めている。</p>	○	<p>新人職員への指導が早急に徹底されることを望みます。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>法人の理念に加え、事業所独自の理念と方針について十分な説明がなされており、入居者や家族の理解・納得が図られている。退居を含めた対応可能な範囲についても説明がなされている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>ホーム便りが発行されている。また、家族会での報告などもあるが、その他に入居者一人ひとりの部屋に連絡ノートが用意されており、ご家族との情報交換ができるようにしている。入居者の状態変化については、その都度電話等で報告されている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見箱を設置されているが、その他にも入居者一人ひとりの連絡ノートを利用していただき、遠慮なくなんでも言える雰囲気作りがされている。また各事業者の窓口にも意見箱が設置されており、法人全体での運営に反映させている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>異動の際には、引き継ぎ期間を設けるなどの配慮がなされている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内・外部研修を受ける機会を確保されている。新人職員については併設施設での実習を行うなどの取り組みがされている</p>		
14	18	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>法人を中心とした同業者とのネットワークが構成されており、情報の交換などによりサービスの向上に努めている。</p>		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居者の生活歴を念頭に置き、馴染みの家具や仏壇等を持参していただき、安心して暮らせるように入居当初は面会を多くしていただく等の工夫をされている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>食事の準備や後片付け、掃除、洗濯等入居者を中心とした生活習慣が出来ており、職員は入居者に助けられ、教わったりと共に暮らしを支えあう関係を作りあげている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	アセスメントシートを活用されており、入居者またはご家族より情報収集を行い、入居者の生活歴や好き嫌い等の把握に努めており、本人本位の検討がなされている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	入居者、家族と話し合い意見を聞き、関係職員でカンファレンスを開きそれぞれの意見やアイデアを反映させた介護計画を作成されている。		
19	34	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の見直しは3ヶ月に1回行われている。また、入居者の状態変化に合わせての見直しも必要に応じ随時作成されている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入居者、家族の状況・要望に応じた対応がされており、通院やその他の送迎などの必要な支援を柔軟に対応されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居者・家族等の希望を大切にされており、各入居者のかかりつけ医の受診の支援が行われている。また、入居の際に協力医療機関の説明を行っている。他の医療機関との連携もスムーズであり柔軟に対応されている。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	早い段階での意思確認は行われていない。心身の状況が悪化してきた際に家族と話し合いを行い、方針を立てている。また、医師・看護師・介護支援専門員を交え、今後の変化に備えての検討がされている。	○	できるだけ早い段階で話し合いを行い、方針の共有が図られるように検討して頂きたい。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入居者一人ひとりを尊重した対応がされている。また、個人情報の取り扱いについても、記録等は適切な場所に保管されている。		
24	49	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員側の決まりや都合を優先することなく、一人ひとりのペースにあわせた柔軟なケアがなされており、そのために日課は決めていない。その日の天候や入居者の要望に沿った支援を行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>買い物や食事の準備・片付けなど、可能な限り入居者の持っている力を活かせるように支援している。また、職員が入居者と一緒に食事をする事で嗜好調査も行われている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>曜日や時間帯を決めることなく入浴ができるように支援されている。併設のデイサービスでの入浴により温泉へ行くという感覚が引きだされ、楽しめるよう工夫されている。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>入居者個々の力量を把握し、生活歴やそれぞれの経験を活かした軽作業を見出し、実践しながら楽しめている様子が見られる。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>入居者の要望に合わせた買い物や外食等の外出が日常的にできるように支援されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修会や会議等を行っている。また、同法人内の各事業所より情報の収集を行い、原則として身体拘束をしないケアの取り組みを行っている。新人職員への指導も行い、周知徹底されている。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	2階に居室があるため、危険防止のために最小限度の施錠はされているが、弊害にならないような工夫がされており、常に見守りができるような環境が整えられている。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	2ヶ月に1回、防災訓練を実施し、消防署立会いの訓練も実施されている、同法人内の各事業所との協力体制もできている。また、地域の方々への協力を得られるように働きかけている。	○	日中想定 of 防災訓練は2ヶ月に1回行われていますが、夜間想定 of 訓練も組み入れては如何でしょうか。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	病院の栄養士によるアドバイスにて献立を作成されており、栄養・バランスが考慮されている。また、一人ひとりに合った食事形態での提供が出来ており、健康管理に努めている。		
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルが作成しており、細部まで取り決めがなされ、感染症予防の徹底が図られている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>光や音に関しては、適時レースのカーテンを引かれたり不必要に大きな音を出さないようにしている。また、飾り付けや季節の食べ物・話題などで季節感を演出されている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には本人やご家族と相談し、馴染みの家具や仏壇等の持ち込みがされており、使い慣れたものの中で、居心地良く過ごせるよう工夫されている。</p>		

 は、重点項目。